

令和6年度「標茶町立中茶安別小学校 学力向上計画」

1 児童の実態

【令和5年度標茶町標準学力調査より】

教科	国語			社会			算数			理科			外国語			記号の意味 目標値を上回る…◎ 目標値と同等…○ 目標値を下回る…△	
	観点	知技	思判表	主体的	知技	思判表	主体的	知技	思判表	主体的	知技	思判表	主体的	知技	思判表		主体的
1年生 (現2年生)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎
2年生 (現3年生)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎
3年生 (現4年生)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎
4年生 (現5年生)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎
5年生 (現6年生)	△	△	△	◎	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎

△成果
全ての学年で令和4年度より学力が向上している。特に、6年生(現中1)は全ての教科で目標値を上回った。(主として5年生)
・日本の国土と人々の暮らしについて理解している。
・植物のつくりや成長について理解している。
・英語での日常会話を聞いたり、英文を書いたりでき

△課題(主として5年生)
・物語の内容を読むことが不十分。
・単位数あたりの大きさや比例の理解度が低い。
・流れる水の動きについての理解度が低い。

【令和5年度全国学力・学習状況調査(自校採点)より】

○成果

【国語】・資料の内容を適切に読み取る。

【算数】・グラフを読み取り、見出した違いについて説明する。

△課題

【国語】・図表やグラフなどの資料から自分の考えが伝わるよう工夫して書く。

【算数】・図形の性質や、数と式の正しい関連性について理解している。

2 目標

【標茶町標準学力調査】

○全ての学年で目標値と同程度を目指す。

○ICT機器の活用など、学習意欲の向上を図り、授業の工夫・改善に取り組む。

【全国学力・学習状況調査】

○正答率を上げる。

3 改善方策

【授業】

○低学年のうちから、「読むこと」の丁寧な指導と、条件に合わせて書くことに慣れるようにする。

○ICTを活用し、漢字や計算など基礎的な学習に意欲的に取り組めるようにする。

【授業以外の取り組み】

○チャレンジテスト(全学年)の取組

○朝読書・朝学習と家庭学習の継続した取組

【連携(研修、小学校、家庭)】

○1台端末を活用しつつ、計画的かつ効果的な家庭学習を推進し、家庭学習の定着を目指す。

4 実施計画

時期	授業	授業以外の取り組み	連携(研修、小学校、家庭)
4月	・授業開きオリエンテーション ・授業を互いに見合う	・計画的な家庭学習の取り組み開始 ・チャレンジテスト(前年度問題、前年度サポート問題) ・必要に応じた学習支援(通年)・朝読書・朝学習(通年) ・家庭学習の取り組み掲示(通年)	・本の紹介(通年) ・『家庭学習9か月計画』『家庭学習の手引き』の配付・学級懇談会での説明 ・図書館バスの利用(通年)
5月		・全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上計画の見直し	・読書の呼びかけ
6月	・校内授業研～(1人1授業)		・学校サポートプラン
7月	・教職員自己評価①	・チャレンジテスト(1学期末問題、1学期サポート問題)	・授業参観、懇談会 ・学校サポートプラン
8月	・自己評価①を受けての学校改善プラン実施		・夏休みチャレンジ発表会 ・校内授業研事前研①
9月			
10月	・校内授業全体研①		・校内授業研事後研① ・校内授業研事前研②
11月	・校内授業全体研②		・校内授業研事後研②
12月	・教職員自己評価②	・チャレンジテスト(2学期末問題、2学期サポート問題) ・標茶町標準学力調査	・授業参観、懇談会
1月	・自己評価②を受けての学校改善プラン実施		・研究主題、仮説の検証 ・標茶町標準学力調査の結果を分析し、教員間で共有を図る。 ・分析結果を保護者に配布し、家庭学習の取り組みに生かす。
2月		・標茶町標準学力調査の結果分析と学力向上計画の見直し②	・全体研修(今年度校内授業研の振り返り・課題と成果) ・授業参観、懇談会 ・総合的な学習の時間発表会
3月	・授業改善計画		

5 評価方法

○標茶町標準学力調査後に中間評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。

○全国学力・学習状況調査後に評価を行い、成果とその理由を記述化して、次年度の数値目標を設定する。